

公開シンポジウム「科学・社会・大学」のご案内

—大学評価学会第44回研究会—

医薬品開発や STAP 細胞問題など、研究不正・疑惑が明るみになっています。科学はどうあるべきか、大学はどうあるべきかを、社会との対話を通して探りたいと思います。科学者・大学関係者はもちろんのこと、広く市民の皆様のご参加を呼びかけます。

なお、本シンポジウムは大学評価学会と高等教育研究会、日本科学者会議京都支部との共催、JSA 近畿地区の協賛です。

記

- ・日時：2014年8月31日（日）13:00～17:00(12:30 開場)
- ・場所：龍谷大学（大宮学舎）清和館3階ホール
〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1
(京都駅から徒歩約10分／市バスで大宮七条・京都水族館前から徒歩約3分)
* 龍谷大学は1639年に京都・西本願寺に設けられた「学寮」に始まり、大宮キャンパスは歴史的にも古く、興味深い建造物が幾つもあります。
- ・内容：開会あいさつ・趣旨説明（渡部昭男 大学評価学会事務局長）
第1部「科学と社会」（13:05～15:00）
[基調講演]
池内 了氏（名古屋大学名誉教授・総合研究大学院大学名誉教授）
「科学と社会を巡る問題」
(最新刊『科学のこれまで、科学のこれから』岩波ブックレット2014)
[特別報告]
「医科大学・医学部における不正」
質疑応答
(休憩、15:00～15:15)
第2部「大学と社会との対話」（15:15～17:00）
浅倉 拓也氏（朝日新聞大阪本社社会部）
「ジャーナリストからみた大学」（仮題）
井上 誠二氏
(京都中小企業家同友会 常任相談役、建都住宅販売株式会社代表取締役)
「(地域) 社会から見た大学」（仮題）
総合討論（16:15～17:00）
池内了氏、特別報告者、浅倉拓也氏、井上誠二氏
閉会あいさつ（齋藤敏康 高等教育研究会代表）
※ 司会は、第1部が重本直利、第2部と総合討論が日永龍彦。
- ・参加費：無料（事前の申し込みは不要）。
- ・その他：シンポジウム終了後、学内の生協食堂にて懇親会を開催します(会費 3,500 円)。参加を希望される方は、できるだけ事前に事務局までご連絡ください。

【事務連絡先】

612 - 8577 京都市伏見区深草塚本町 67 番地
龍谷大学 経営学部 細川孝
Tel/Fax : 075(645)8634 (ダイヤルイン)
e-mail : hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp